

梶山女学園大学・富士見寮 1F みんなの居場所を使ったつながりのイベント企画

梶本雅好研究室 企画 山越日菜多



梶山女学園大学・富士見寮 1F みんなの居場所を使ったつながりのイベント企画

1. はじめに

梶山女学園大学の学生寮である富士見寮は名東区一社にある収容定員 152 名のワンルームマンションタイプの寮である。

1F リニューアル部分の利用実態調査を手伝ってほしいと橋本雅好研究室に依頼がきたことがこの企画を実施した背景である。

3. 目的

利用頻度が少なく使用方法が認知されていない “ FuFu ” を「使ってもいい」「居ていい」と感じられる状態にする条件を探ること。

寮生主体で継続的に使用することが出来る仕組みづくりを目的とする。

2. 調査から見えた課題

寮生 45名 にアンケート調査したところ、JiJi MiMi は自主学習や雑談を目的に使用する人が多々見られた。一方 FuFu は「使い方が分からない、何か目的がないと居づらい、カーテンや仕切りがないと恥ずかしい、寮生が通るので一人だと人目が気になる」等、心理的要因が大きく使用方法がわからないという点が挙げられた。

4. 企画内容

映画上映会を実施

第1回「LA LA LAND」 2025.12.06

第2回「ズートピア1」 2026.01.26

期末試験後の人数不足により 未実施

2025

4月

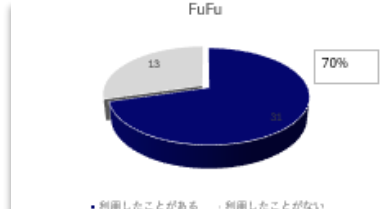


4/20 1年生歓迎会

この歓迎会は、毎年寮生の 3 年生を中心に企画・運営されている恒例行事であり、FuFu を使用した数少ないイベントの一つである。

調査時点において、FuFu が計画的に利用される機会は、この 1 年生歓迎会にほぼ限定されている状況であった。

7月



利用実態アンケート調査

寮生45名
[FuFu]に関する要望

- ・プロジェクター利用方法のチラシがほしい
- ・TV, プロジェクター、ブルーレイが見たい
- ・視線が気になる、一人が恥ずかしい、カーテンや仕切りが欲しい
- ・勝手に使っていいのかわからない

10月



10/28 🍰作り リハーサル

本企画の検討過程でクリスマス時期に合わせたケーキ作りを行った後、映画鑑賞を行う企画を計画した。

4名でケーキ作りを行ったが、空調環境の変動や参加人数が確定しにくいことから、繊細なお菓子作りは安定した運営が難しいことが明らかに。

12月



12/6 企画1 🎬「LA LA LAND」

本企画では、飲食を自由とし、既存のクッションを活用することで、長時間滞在しても負担のない環境を整えた。途中参加・途中退出を可能とすることで、利用者が自分のペースで過ごせる場となるよう配慮した。

これにより、特定の目的や交流を前提とせずとも、自然と人が集い、空間に滞在するきっかけを生み出すことを目指した。

また、映画鑑賞と軽い食事を組み合わせることで、交流を目的化せずとも自然に同じ空間を共有できる場の創出を目指した。

2026

1月



1/26 企画2 🎬「ズートピア1」

【作品の満足度】★ 3/5 【会場の心地よさ(照明・音・席 etc)】★3/5 【企画進行の分かりやすさ】★ 4.5/5
【今日の企画をひとことで表すと?】・最高に面白かった・穏やかになる・ラ・ラ・ランド難しいけど面白かったです!

8. まとめ

本企画では、寮 1F みんなの居場所を滞在そのものに価値を持たせることで、結果的に人と人が緩やかにつながる空間の在り方を提案した。

また、プロジェクターの使用方法をまとめたパンフレットを整備することで、企画終了後も学生が主体的に空間を活用できる環境づくりを行った。

試行と検証を通して得られた知見をもとに、今後も継続的に活用可能なみんなの居場所として発展させていくことを目指す。